

単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術

— 腹腔鏡下胆嚢摘出術 全国2位の実績 —

単孔式1,299例・2孔式2,487例

群馬県済生会前橋病院 外科・腹腔鏡外科センター

胆嚢に石ができる病気を胆嚢結石症といい、胆嚢炎を併発することがあります。胆嚢癌との関連性については、若干胆嚢癌発生率が高いと報告されています。手術は胆嚢を切除する腹腔鏡下胆嚢摘出術が行われます。当院で開発した臍窩縦切開2穴式腹腔鏡下胆嚢摘出術は通常の4穴式に比べて傷が半分以下であり、体への負担がとて少ない術式です。現在ではこれを更に進歩させた傷跡が全くない単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の比率が87%となっています。

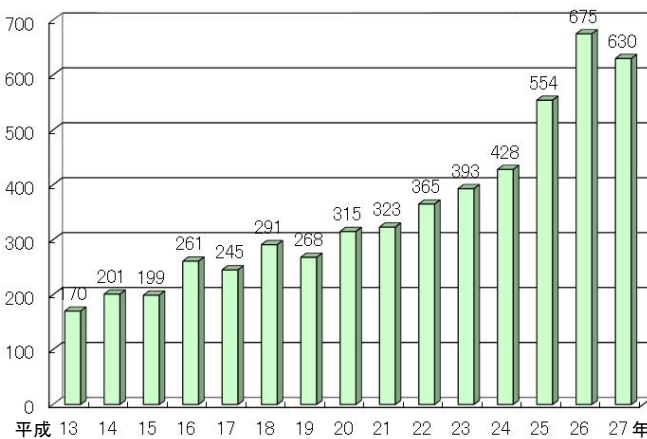
1. 当院の腹腔鏡下手術・腹腔鏡下胆嚢摘出術

腹腔鏡下手術を安全に行うには、十分な経験が必要です。当院では腹腔鏡手術実績が豊富な医師を中心として、胃癌・大腸癌・膵腫瘍・脾臓などいろいろな病気を腹腔鏡下に手術しています。腹腔鏡下総手術件数は、2015年までに6,159例に達しており、全国でも有数の数を誇り、腹腔鏡下手術に起因する手術関連死は1例もありません(図1)。当初より傷跡が残らない臍窩縦切開法(最近全国でも注目されています)を行い、既に5,000例以上で本切開法を実施しました。

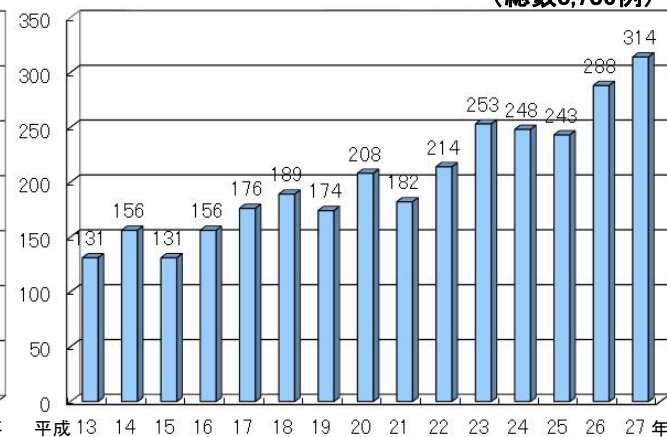
腹腔鏡下胆嚢摘出術は1992年に開始。1997年、細内により皮膚を切開せずに挿入できる針型臓器把持器具ミニループレトラクターを開発(特許出願 平10-197139 細内・浅尾)。より低侵襲な2孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術を考案、開始。2009年までに2,223人に実施しました。

2009年6月からは傷跡が全く残らない単孔式腹腔鏡下手術を開始し、2015年までに1,299例と全国でも2番目に多い実績となっています(図2)。最近では炎症が中等度までは単孔式(約87%)、炎症が特に強い人は2孔式(約13%)となっています(図2)(図3)。

(図1) 腹腔鏡下手術件数年次推移 (総数6,159例)



(図2) 腹腔鏡下胆嚢摘出術手術件数年次推移 (総数3,786例)

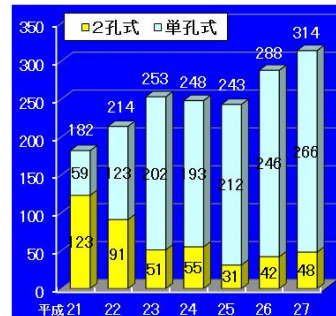


2. 当院の腹腔鏡下胆嚢摘出術の手順

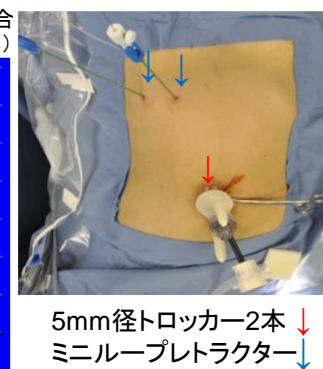
- 術前処置の浣腸なし。苦痛となる鼻から胃まで挿入する胃管、お小水の管も挿入しません。
- 全身麻酔、トロッカー(おなかの外と中を連絡する通り道となる細長い筒)、ミニループレトラクターを挿入し、おなかの中に二酸化炭素を注入しスペースを作ります。一般的な病院では4箇所(4箇所)の切開創にトロッカーを通しますが、当院で開発した術式は臍窩縦切開・2孔式といい、メスで切る小切開は2箇所のみです。単孔式術式ではメスで切る小切開は臍窩の一箇所のみで、ここから2本の5mm径トロッカーを挿入します(図4)。臍のトロッカーから挿入した腹腔鏡でおなかの中を観察しながら手術を行います。ミニループレトラクターで胆嚢を2箇所把持し臍の5mm径トロッカーから挿入した長細い器具で胆嚢を摘出します(図5)(図6)。胆嚢は臍部の傷から腹腔外に引き出します。
- 傷は皮下に吸収される糸で縫合するため抜糸は必要ありません。
- 手術翌日からシャワー・短時間の入浴が可能です。

(図3)

単孔式腹腔鏡下胆嚢摘出術の割合 (平成21年-平成27年)

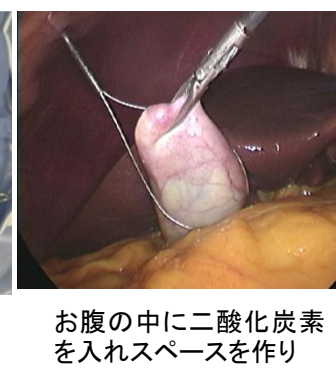


(図4) 単孔式



5mm径トロッカー2本 ↓
ミニループレトラクター ↓

(図5)



お腹の中に二酸化炭素を入れスペースを作り手術操作を行います

(図6)

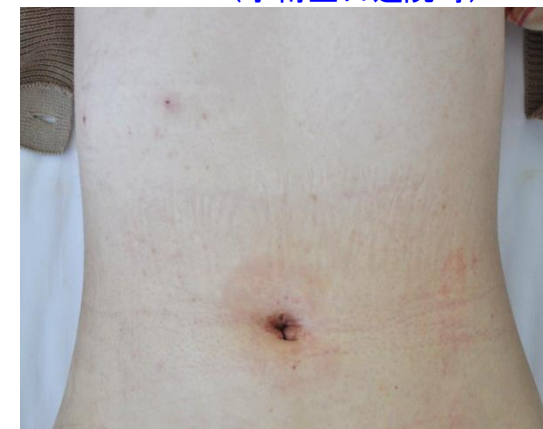


モニター画面を見ながらの長い手術器具による体外からの操作

3. 当院腹腔鏡下胆嚢摘出術のメリット

- 1) 傷跡が全くないあるいは目立たない**
単孔式では傷を臍の中で切りますので手術後にこの傷は見え、虫に刺されたようなミニループレトラクターの跡が僅かに残るのみで全く傷が残りません。2孔式では上腹部に5mmの傷跡が残るのみです。
- 2) 手術後の痛みが少ない、回復が早い**
傷が小さく少ないため、術後3時間で水分摂取を開始し、歩行も始めます。翌朝より食事を開始します。
- 3) 入院期間が短い**
入院期間は2日から4日間(希望に合わせて)で、社会復帰は4日から7日で可能です。予想される経過は別紙入院診療計画書をご参照ください。

単孔式術式術後の腹部 (手術翌日退院時)

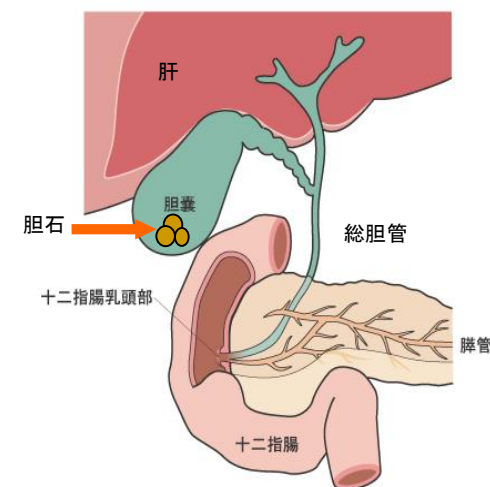


4. どんな患者さんに腹腔鏡下胆嚢摘出術は適応されるのですか、安全性は?

当院では急性胆嚢炎を含め、炎症の程度、上腹部手術既往の有無を問わず、胆嚢癌以外のすべての胆嚢結石症および手術に必要な胆嚢ポリープの患者さんに腹腔鏡下胆嚢摘出術を行います。1998年からの当院データは腹腔鏡手術完遂率は99.5%で、合併症も僅か0.6%でいずれも軽く、問題なく治癒しました。単孔式術式も経験豊富な外科医が施行すればきわめて安全性は高い術式です。

5. 胆嚢を取ってしまったら大丈夫なの?

胆汁は肝臓で作られ、一部はそのまま十二指腸に流れ、一部は胆嚢にためられます。食事をした時に胆嚢は収縮し、胆汁を十二指腸に分泌し消化を助けます。脂っこい食事では特に胆嚢が強く収縮するため、胆石をもっている人は脂っこいものを制限する必要があります。手術で胆嚢を取ってしまったら胆汁は100%肝臓で作られきちんと十二指腸に分泌され続けますので、手術後は食事制限の必要がなく、日常生活も全く変わりなく過ごすことができます。



胃・大腸・膵脾等の腹腔鏡下手術についてお知りになりたい方は、
当院ホームページ(<http://www.maebashi.saiseikai.or.jp>)をご覧ください。